

さんがEXPRESS

掲示用

発行所

セブン&アイグループ労働組合連合会
イトーヨーカドー労働組合
東京都千代田区二番町8-8
TEL 03-6238-3940
FAX 03-3261-2358
発行者 渡邊 健志 編集者 関 洋亮

未来思考の対話を通じて、より良い未来を創っていこう



渡邊中央執行委員長



竹内中央執行書記長



佐藤中央執行副委員長



宇野中央執行副委員長



全議案満場一致で承認



かわいかたのり参議院議員



ガンバロー三唱

第53回定期中央大会開催報告

2022年10月5日(水)に第53回定期中央大会が開催されました。当日は、新型コロナウイルス感染症の感染対策として、複数会場に分散しての開催となりました。「2023年度活動方針」をはじめとする7つの議案審議を行い、すべての議案が満場一致で承認されました。

今年度の活動スローガンは「未来思考の対話を通じて、より良い未来を創っていこう」です。協議や対話を行う双方が目指す共通目的のもと、それぞれが自分の立場や責任を適切に捉え、考え方の協力により未来思考に立った協議や対話を行うことで、問題の本質を追求し、より良い未来を共に創っていくことをめざします。今年度も組合員の皆さんのより一層の活動への参加・参画をよろしくお願いいたします。

～議案事項～

- ◇第1号議案「2023年度活動方針」
- ◇第2号議案「2023年度予算およびパンプキンクラブ予算」
- ◇第3号議案「2023年度中央役員選出」
- ◇第4号議案「上部団体役員の就任」
- ◇第5号議案「参与の任命」
- ◇第6号議案「第20回統一地方選挙必勝決議」
- ◇第7号議案「功労者表彰」

【議長団】



大会議長
上尾駅前支部
中森 純子



大会副議長
川崎港町支部
角田 元気



大会書記
八尾支部
田村 紗英子

【大会運営委員長】【中央選挙管理委員長】



大会運営委員長
松戸支部
中山 典洋



中央選挙管理委員長
営業・管理支部
高木 政博

【中央執行委員長 あいさつ(抜粋)】



中央執行委員長
渡邊 健志

私たちを取り巻く環境はここ直近1年間だけを見ても、新型コロナの感染拡大・原油価格や原材料の高騰・円安・気候変動・自然災害など、過去とは比較にならないくらい目まぐるしい変化が次から次へと起こる状況にある。世の中では「パーパス経営」が、次世代の経営モデルと注目され広がっている。過去の企業理念は「ミッション・ビジョン・バリュー」を掲げていたが、今の時代は「パーパス(志)・ドリーム(夢)・ビリーフ(信念)」にシフトチェンジしている。この内発的動機が変化に対応していくためには欠かせない。その事への会社全体から湧き出てくる強い思いと行動が「1Yパーパス(1Yの存在意義)と言え、このことが同時に1Yにエンゲージすることに繋がると考えている。

商売の原点は「お客様」であり、1Yの理念は「信頼と誠実」と「変化への対応と基本の徹底」、組合活動の原点は「支部や組合員」であり、その基本は「涸れた井戸から水は汲めない」にある。大きな変革を求められる時代に、私たちが克服すべきことは「固定観念からの脱却」にある。今は1Yの緊急事態。だからこそ「会社一致」「労使一和」で直面する社難に対峙しなければならない。常に労使が「現場ファースト」の姿勢を持ち、個々の問題を課題化しその改善行為を継続していく、「諦めない・やり抜く」ことが最も肝要だと考えている。

今期も労働組合と会社経営が協働し、経営体制の再建強化を図る最良の手段である「労使協議」を通じた「経営参画」を行っていく。また組合役員とは「経営の厳しさや危機感を共有」しつつ「どうあるべきか」という建設的な議論を、組合員へは「安心感や充実感とともに楽しさ」を実感してもらえるような活動や、労使協働の取り組みに挑戦していく。今年度も厳しくも難しい判断を余儀なくされることが予想されるが、組合員の皆さんとともにこの難局を乗り越えていきたい。引き続き、活動への理解の上、参加・参画をお願いしたい。

【ご来賓あいさつ(抜粋)】



UAゼンセン
東京都支部 次長
構松 賢一氏

日頃よりUAゼンセンへの諸活動へのご理解とご協力に対して感謝申し上げます。長引くコロナ禍で組合活動もままならない中、「かわいたかのり」の支持拡大にご尽力いただき、7月の参議院議員選挙において三期目の当選を果たすことができました。

来年4月に予定されている第20回統一地方選挙において、東京都では7名の組織内候補者を予定している。法律を作るのは国会議員だが、その実行度合いを確認・検証するのは地方議員である。私たちの政策実現のためにも、引き続きお力添えをいただきたい。また、UAゼンセン結成10周年についても、多くの組合員にご参加いただけるよう、ご理解、ご協力をお願いしたい。



(株)イトーヨーカ堂
代表取締役社長
山本 哲也氏

業務多忙及び、コロナ禍が終息していない様々な制約がある中で、従業員を代表して組合活動をしている皆様に心より敬意を表したい。また、第26回参議院議員選挙においては、労働組合の組織内候補である「かわいたかのり」氏の当選にご尽力されたと聞いている。今後も現場の声を政治へ届けていただきたい。より良い職場づくりにむけた政策実現に大いに期待をしている。

今、イトーヨーカ堂を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあるが、今後私たちは3つのX強化に取り組んでいかなければならない。CX(カスタマーエクスペリエンス)・EX(エンployeeエクスペリエンス)・DX(デジタルトランスフォーメーション)をやり遂げることにより、1Yのパーパスである、「お客様に期待をこえる買い物体験を。」「従業員に期待をこえるしごと体験を。」が実現できると考えている。これらを実現させるために、組合員の皆さんは、失敗を恐れずに新しいことにチャレンジして欲しい。今後も、継続的な労使による対話、協議を通じて、イトーヨーカ堂の再成長をめざしていきたい。これまで以上に皆さんのご協力をお願いしたい。

【第1号議案 2023年度活動方針】満場一致で承認されました！

未来思考の対話を通じて、より良い未来を創っていこう

先行きの見通しが見えない「不確実性の時代」がしばらく続くことが予測される環境下、1Yにおいても変化を正しく捉えスピード感のある対応をとっていくことが求められます。そのためには、私たち一人ひとりが「何のために」「誰のために」という視点をもった取り組みを継続していくことが大切です。時代や環境がどんなに変化しても変わらないことは、すべての取り組みの主役は「現場である」ということです。現場(支部)起点の取り組みを通じ、「働きがいを実感できる環境づくり」を追求するためにも、現場力向上は欠かせません。あらゆる場面で、「目指す共通目的のもと、それぞれが自分の立場や責任を適切に捉えながら、考え方の協力により未来思考の協議や対話を行うこと」は組合機能の発揮に繋がります。改めて、労働組合が大切にしてきた基本的考え方を全組合員が一にして、未来思考の対話を通じて、より良い未来を共に創っていくことをめざします。

2023年度の活動を推進していく基本姿勢

- 組織に活力を創出させ成長や発展を促す「魅力や価値を生み出す活動」
- 改善行為や組織堅持に繋がる「問題意識を持った活動」
- 課題の本質や現場の実態を正しく認識する「組合員に近づく活動」

第53回定期中央大会の詳細については、11月発行予定のさんかvol.543をご参照ください。

— 掲示期間 11月23日(水)まで —